



平成 26 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 運
代表者名 代表取締役社長 高橋 健一
(コード番号 9 3 6 3 東証第 2 部)
問合せ先 取締役管理本部長 吉野 弘一
(TEL. 06 - 6532 - 4101)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信[日本基準] (非連結)」の一部訂正について

平成 25 年 11 月 12 日に発表いたしました「平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信[日本基準 (非連結)]」の記載内容の一部に訂正がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明の①港湾運送事業と②自動車運送事業のセグメント利益(営業利益)金額及びそれに伴う記載に誤りがあったため、一部数値及び記載を訂正するものです。なお、当社全体の利益に関しての訂正はありません。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付しております。

(訂正前)

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、3,054,819千円で、前年同四半期と比べ10,108千円(0.3%)の減収となり、全セグメントの95.8%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は226,627千円で、前年同四半期と比べ28,959千円(14.6%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、堅実な業績改善を図ることができました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、128,848千円で、前年同四半期と比べ4,254千円(3.4%)の増収となり、全セグメントの4.0%を占めております。

セグメント利益は、9,790千円で、前年同四半期と比べ14,888千円(前年同四半期は△5,098千円)の増益となりました。

(訂正後)

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、3,054,819千円で、前年同四半期と比べ10,108千円（0.3%）の減収となり、全セグメントの95.8%を占めております。

セグメント利益（営業利益）は260,263千円で、前年同四半期と比べ62,595千円（31.7%）の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入は堅調に推移したものの、採算面で厳しさが増しました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、128,848千円で、前年同四半期と比べ4,254千円（3.4%）の増収となり、全セグメントの4.0%を占めております。

セグメント利益は、△23,846千円で、前年同四半期と比べ18,748千円（前年同四半期は△5,098千円）の減益となりました。

以 上